

# 第1学年通信

第8号

平成27年12月7日(月)

ホームページ <http://www.nc.isesaki-hs.gsn.ed.jp/>

## 1. 職業講話を終えて

同窓生による職業講話が無事終了しました。提出された感想文等を見ると、個々の生徒が、しっかりした態度で臨めたようです。まずそれが何よりです。次にこの講話内容を自分の進路に活かしてもらいたいです。それがこの行事の目的です。来年度の科目選択も確定し、将来自分がどういう方向に進んでいくか見えてきた人も多いと思います。次にやることは、学部や学科を考えていくことです。

## 2. 模擬試験の結果を考える

10月下旬に実施した模擬試験が返ってきました。7月の模擬試験と比較してみましょう。この結果を各自しっかり受け止めて今後の学習に活かしましょう。次の模擬試験は、1月23日(土)です。

## 3. 11月の報告

### 創立記念式典

2日(月)に第11回の創立記念式典と記念講演会が実施されました。同窓会よりスクリーン・プロジェクター8セットを記念品として贈呈されました。記念講演では、伊勢崎高校1期生の澁澤悠太氏(昨年まで「玉村中」・本年度「毛里田中」教諭)から、「後輩へのメッセージ」という演題で講演をしていただきました。

### 二者面談

9日(月)～13日(金)に二者面談を行いました。1学期に提出された学科・科目希望調査と5日(木)に行った学年集会を参考にして、来年度に進みたい学科、選択したい科目を学級担任と話し合いました。

\*今後の流れ

①1月下旬最終調整:「学科・類型」決定

④高2・4月新学科・コース授業開始

### 「同窓生」による職業講話

11/19日(木)に、1年生対象に伊東・伊高の同窓生による「職業講話」を開催しました。本年度は、企業・公務員・保育・医療系を含む13名のOB・OGに講話をしていただきました。この模様は、群馬テレビでも放映されました。

### 期末試験

11月末の30日(月)～12月3日(木)までの4日間、期末考査がありました。中間考査から余り時間はありませんでしたが、早め早めの準備をしっかりして生徒は、結果を出しているようです。

## 4. 12月の予定

5日(土) 土曜補習⑦	7日(月) 今週のコラム特別号
10日(木) 人権教育(7限:LHR)	14日(月) 身だしなみチェック強化日
15日(火)～18日(金) 文化部発表会	17日(木) 進路ガイダンス(7限:LHR)
18日(金) 文化部発表会ステージ発表	19日(土) 土曜補習⑧
22日(火) 終業式	24日(木) 25日(金) 28日(月) 冬季補習
1月6日(水) 始業式	

## 5. 今後の勉強方法(再確認)

今年もあと1ヶ月で終り。3年後(実際は2年とちょっと)の“大学受験”は今日も刻々と近づいています。高校生活を有意義に、そして志望大学合格という栄冠を勝ち取るために、高校1年生のうちにやっておくべきことを確認しましょう。

ここでは、1学期の学年集会で話した内容を再度確認し、現時点でクリアしておきたい5つのミッションを裏面に紹介します。

### MISSION1 ～学習スタイルを定着させよ！～

4月のガイダンスでも話しましたが、授業中の「お手上げ！」とならないために、学習スタイルは定着しましたか？学習スタイルの基本は、[予習]→[授業]→[復習]です。まずは、予習をし、自分が分からない箇所がどこかを明確にした上で、授業に臨んでますか？そうすることで、自分が聞かなければならない箇所に特に集中して、授業を受けることができます。そして何より[復習]をすることで理解度を確認し、更に知識を定着させることが大切です。もし理解できていない箇所があれば、先生に質問しに行くなどして、できるだけ早く解決しておきましょう。自分が理解できていなかった箇所は、1週間後にも再度復習をするとより効果的です。部活動が忙しく、その日のうちにできなかった場合は、週末に補うなど「自分にあった学習スタイル」を確立しましょう。

### MISSION2 ～文・理を選択せよ！～

先月中旬に「学科・科目選択希望用紙」を提出してもらいました。ご存知の通り、本校では、高2生から「文(G・C含)・理分け」が行われます。文系・理系どちらのコースを選択するかは、将来大学や学部を決める際に、非常に大きく関わってきます。比較的時間に余裕のある1年生の時から、学びたい分野について考えてみましょう。文理選択で大切なことは、「数学が苦手だから」、「国語が苦手だから」といった「苦手」を理由に選択してはならないということです。将来自分が就きたい職業や、興味のある学問が文系、理系のどちらで学べるのか、という観点で考えるようにしましょう。進みたい進路をどう見つけたらよいか分からない、という人は、新聞等を読んで、自分が興味のある内容はどういう記事かな？と考えるなど、身近なものから興味のあるものを探すのも有効な手段です。

### MISSION3 ～苦手と向き合え！～

苦手科目や苦手分野は誰にでもあります。この「苦手」と向き合い、克服できるかどうか、志望校合格のための鍵となります。国公立大では、受験に必要な科目が「7科目」とかなり多いのが一般的です。高3生になると、理科や社会の学習にも時間が必要になってきます。英・数・国の主要3科目の苦手は高1・2生のうちに克服しておきましょう。間違えた問題や理解ができていない箇所は、教科書を繰り返し読んだり、先生に質問したりと十分な時間をかけましょう。時間に余裕のある高1・2生のうちに、とことん苦手と向き合いましょう。苦手科目の克服には夏休み・冬休みなどの長期休暇が絶好の機会です。

### MISSION4 ～大学入試制度を理解せよ！～

先月の二者面談時に提出した「進路志望先調査用紙」の記入で苦労した通り、大学入試の仕組みや制度はかなり複雑です。「国公立大」と「私立大」、「推薦入試」や「AO入試」と「一般入試」ではそれぞれスケジュールや選抜方式が大きく異なります。各教室や進路指導室にある進路雑誌・資料を活用し、それらについて正しく理解し、その後の学習計画を立てましょう。

### MISSION5 ～”五感”を使って大学・学部研究をせよ！～

比較的時間に余裕のある高1・2生のうちに、いろいろな大学について調べ、自分が学びたいと思える大学・学部に出会いましょう。大学のオープンキャンパスに参加したり、興味のある学問に関する研究が行われている大学について調べたり自分の目で見て、聞いて、触れて、自分の五感を使って大学・学部研究をして下さい。志望校に対する具体的なイメージをもつことは、勉強に対するモチベーションアップにつながります！

以上の5つのミッションを頭に入れて、3年生の卒業時に「サクラ咲く」となるように、努力して下さい。

### 《保護者の皆さんへ》

早いものでもう師走です。保護者の方もお忙しいことと思います。また、先日二者面談をし、主に来年度の科目選択の確認をしました。なかなか将来の進路目標がはっきり決まらない生徒もいるようですが、高校生も大学生も就職状況は厳しいようです。社会の厳しさを実感してもらい、早めに自分の進路を決めて欲しいと考えています。大学受験は、早くからそれを意識して取り組んだ生徒の方が良い結果を残しています。ご家庭でもそんなことを話題にしてみてください。